

こんにちは！ 障がい者(児)等相談支援の窓口です！

うるま市内には委託相談支援事業所が4箇所あります。
障がいをお持ちの方やそのご家族、関係機関の方からの相談に応じ、必要な支援や情報提供を行います。ご本人の希望を大切に、より自分らしく生活できるようお手伝いします。
※相談は無料です。相談の内容は、固く守られます。(秘密厳守)



対象 うるま市にお住まいの障がいをお持ちの方(児童含む)、ご家族、関係機関の方など。
(身体・知的・精神・難病・発達障がい、高次脳機能障がいなど手帳の有無を問わず相談できます)

相談内容 障がいに関する相談ができます。
※生活に関する相談や情報提供、福祉サービスについてなど。

相談受付 月曜日から金曜日(平日)午前8時30分～午後5時15分まで
(土・日・祝日・年末年始はお休みです。)

相談方法 電話・来所(※要予約)など相談に応じます。(※自宅への訪問可)



相談支援事業所	住所	連絡先
うるま市地域生活支援センター あいあい	うるま市字安慶名一丁目8番1号 (うるみん2F)	TEL: 979-0555 FAX: 974-5306
相談支援センター 石川学院	うるま市石川東山本町 一丁目20番2号	TEL: 090-6869-5286 FAX: 964-5055
相談支援センター ハルモニア	うるま市字仲嶺530番地34 仲嶺ハイツB-13	TEL: 090-1943-9579 FAX: 989-3830
相談支援事業所 サマンの木	うるま市字前原411番地1	TEL: 080-6488-9909 FAX: 989-5812

問合せ先 障がい福祉課 ☎973-5452

あつ、便利。

うるま市公式 防災アプリ

防災アプリでは、防災行政無線から発する情報を文字で確認でき、各種緊急情報の通知や気象状況や災害情報、避難所情報などをお知らせします。ぜひご登録ください！

Get it on Google play

Available on the App Store

問合せ先 防災基地涉外課 ☎979-6760



1/15 ワクチン接種に向け体制を整備 新型コロナ対策室`ワクチン接種班、新設



国が新型コロナウイルスワクチン接種を予定していることから、速やかに対象者への接種ができるよう全庁的な体制で準備に取り組む必要があります。そのため、うるま市では令和2年4月に設置した新型コロナウイルス対策室のなかに、新たに「ワクチン接種班」を設置しました。今後、県や医師会等と連携しながら円滑なワクチン接種が行えるよう迅速に対応していきます。

12/22 うるま市の農業を支える 青年農業士・名誉指導農業士



県から、うるま市農家の伊波大志氏が青年農業士、仲村孝氏が指導農業士に認定、山口榮勝氏には名誉指導農業士として感謝状が贈呈され、伊波氏と山口氏が報告に訪れました。農業士とは、将来の地域農業を担う先駆的指導農業経営者確保のため知事が認定するもので、その中で地域農業の発展に寄与した方が名誉指導農業士として位置づけられています。

1/6 防火・防災の決意新たに 令和3年うるま市消防出初式



新春の恒例行事となっているうるま市消防出初式ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催となりました。式典では、消防活動に対して功績のあった職団員へ表彰が行われました。上間副市長は「各種災害の防止対策に一層の努力を傾注し、消防人としての誇りとその使命を認識し、これまで培ってきた不屈の精神で、邁進されますよう期待します」と激励しました。

12/18 うるま市の小学生プログラマー 第1回プログラミングコンテスト 表彰式



うるま市の未来を担う人材の育成・輩出を目的に、(株)シーエーアドバンス運営協力のもと、小学生を対象とした『第1回うるま市プログラミングコンテスト』が開催されました。多数の応募の中から最優秀賞にあたる「うるま市教育長賞」に風間海七音さん(アミークス小6年)の『二人対戦! PKゲーム』が選ばれました。

12/18 手作りのお守りが地域をつなぐ 玉城弘子さん タイムス地域貢献賞



たましろひろこ 玉城弘子さん(石川在)は、1995年から城前小や宮森小、伊波小の新生に手作りの交通安全のお守りを贈る活動を続けており、その活動が評価され、沖縄タイムス社より「タイムス地域貢献賞」を受賞されました。上間副市長は「子ども達はこれのお守りで地域の繋がりを感ずることが出来たと思います。ありがとうございます」と述べ、受賞を共に喜びました。

1/13 子育て支援に役立てて 若年妊産婦の居場所へ(有)協進から寄付金



(有)協進(天願勝社長)から、うるま市で若年妊産婦の居場所を運営している(株)アソシア(神谷牧人 代表取締役)へ寄付金が贈呈されました。(株)アソシア居場所統括 山城麻美氏は「いただいた寄付金を利用者の自立に向けて活用したい」と述べ感謝しました。(有)協進からの寄付は毎年行われており、今回が4回目となります。